



「未来志向」「ONE TEAM」で、JR産業に「安心」を取り戻そう！

2022年 3月 1日

日本鉄道労働組合連合会

JR東海ユニオン 第2回団体交渉

賃金改善等を中心に議論を展開

定昇実施、ベア、賃金改善について会社に強く主張！

JR東海ユニオンは2月24日、2022春季生活闘争の第2回団体交渉を開催し、賃金改善を中心に議論を展開した。

交渉でJR東海ユニオンは、定昇完全実施やベアをはじめとした「基準内賃金」の改善に加え、総対話行動等で寄せられた意見・要望に基づく通勤手当や別居手当などの基準外賃金の改善、業務効率化や生産性向上に資する「各種制度改善要求」について議論を積み重ねた。

また、夏季手当の支給判断基準や安定支給ベースに関する会社の認識を確認した。

会社からは、感染リスクの不安に晒されながらも、日夜業務に奮闘する組合員の頑張りに対して謝意はあったものの、一方で「2期連続の赤字予想となる苦しい経営状況の中で要求に応えることは困難」という厳しい見解も示された。

JR東海ユニオンは引き続き、組合員の努力に報いるべく、「ハートフルカンパニーの実現」に向けた粘り強い交渉を展開していくこととしている。

【主な議論（主張）内容】

I 基準内賃金の改善について

- 標準乗数を「4」とする定期昇給の実施
- 基本給引上げ「1,000円」
- 調整手当の支給地区拡大
- 扶養手当の増額
- 役付手当の増額

II 制度改善要求について

- 業務実態、生活実態に見合った各種手当支給
通勤手当、別居手当、技能手当、非常呼出手当、職務手当、研究員手当、出向作業手当、旅行雑費、その他手当（時間外労働割増、山間地区駐在、セントラル病院における各種手当、用地業務に係る手当）
- 業務効率化、生産性向上に資する各種機器、設備、システムの導入、改善
中央新幹線建設部門における業務効率化、業務ツール

III 夏季手当について

- 支給月数：基準内賃金及び補償措置額の2.7箇月
- 支給日：6月30日

など